



くまのこ



山口まちづくりセンター

TEL: 04(2924)1224

こどもたちに読み聞かせてみましょう!

- 夏に娘の家族が遊びに来た時のこと。中学3年生の孫(男子)が、「おばあちゃん。永年読み聞かせをしている人のこと、その立場について話を聞かせて」と、ノート片手に話しかけてきた。初めての質問にひらくりした私は、しばらく考えていた。そこで『ぐりとぐら』の絵本を久しぶりに孫たちの前で読み聞かせしながら気付いた事を話してみた。
- 「まず自分がその本を楽しむ」次に「こどもたちの前で読んでみる」そして「こどもたちの様子を見る」「作者が伝えたいことが皆に伝えられたか、考えてみる」こどもたちは、ウキウキワクワクするかもしれない。キャッキャッとさわぐこどももいるだろう。メソメソ泣く子もいるかもしれない。その様子を見て「あぁ...伝わった!!」と思えた時、読み手の人が嬉しくなると伝えた。孫はうなづいてノートをとじた。
- それから何日かして、孫から『ぐりとぐら』の本の中の歌をうたいながら読んだことに「読む側も工夫することで、こどもに良い影響を与えられることができることを知った...」と最後に付け加えられた文章が送られてきた。



『ぐりとぐら』(福音館書店)
はかがわりえこ作、おおむらゆりこ絵